

授業科目名	精神看護学援助論	担当教員	橋本 龍樹・大國 慧 ほか			
開講年次及び学期	3年次前期	必修・選択の別	必修			
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2	

授業の目的（概要）

授業概要：
精神看護学概論で学習した知識をもとに、精神障がいをもつ人々に焦点をあてて看護実践に必要な基本的知識と援助方法について学ぶ。
そして精神障がいをもつ人を取り巻く環境や生活の場にも目を向け、自立と社会参加、権利擁護に向けた地域生活支援の方法について学ぶ。

学修成果（到達目標）

1. 主要な精神疾患（精神障がい）の特徴や症状、経過の特徴について述べることができる。

2. 精神障がいをもつ人への主な治療と看護について述べることができる。

3. 精神障がいをもつ人によくみられる症状へのアプローチの原則について述べることができる。

4. 精神障がいをもつ人の日常生活における援助方法について理解できる。

5. 治療的コミュニケーション技法について理解できる。

6. 精神障がいをもつ人の回復過程に合わせた援助を考えることができる。

7. 精神障がいの程度やレベルに応じた社会参加の方法を考え社会資源の活用・援助について述べることができる。

8. 精神保健福祉法に基づき人権に配慮した療養生活・治療環境について理解できる。

キーワード

精神障がい、統合失調症、気分障害、物質依存、パーソナリティ障害、ストレス性障害、神経症、薬物療法、修正型電気けいれん療法、心理社会的療法、行動制限、隔離拘束、地域移行支援、リハビリ、オレム-アンダーウッドのセルフケア理論

授業の進め方

Webexによるライブ講義およびオンデマンド型講義を併用して実施する。
予習（学習者の準備）、講義（当事者からの話も含む）、個人ワーク、グループワーク、プレゼンテーション、デモンストレーションによって進める。

成績評価の方法（可否基準）

演習への参加度、Moodle上で提出するリアクションペーパー、筆記試験の総合得点を100点満点に換算し、60点以上を合格とする。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書：武井麻子：系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学[1], 医学書院
系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学[2], 医学書院

参考書：野村総一郎：標準精神医学 第6版 医学書院
武井麻子：精神看護学ノート 第2版 医学書院 その他、授業中で適宜紹介します。

オフィスアワー

大國慧（臨床看護学講座）質問等は随時受け付けます。まずはメールにて連絡してください。
E-mail: oguni05@med.shimane-u.ac.jp

モデル・コア・カリキュラムとの関連

A-1 プロフェッショナリズム

A-1-1)看護職としての使命、役割と責務

A-1-2)看護の基盤となる基本的人権の理解と擁護

A-1-3)看護倫理

A-2 看護学の知識と看護実践

A-2-1)学修の在り方

A-2-2)看護実践能力

A-3 根拠に基づいた課題対応能力

A-3-1)課題対応能力

A-4 コミュニケーション能力

A-4-1)コミュニケーションと支援における相互の関係性

A-5 保健・医療・福祉における協働

A-5-1)保健・医療・福祉における協働

A-6 ケアの質と安全の管理

A-6-1)ケアの質の保証

A-6-2)安全性の管理

A-7 社会から求められる看護の役割の拡大

A-7-2)保険・医療・福祉等の多様な場における看護職の役割

C 看護の対象理解に必要な基本的知識

C-1 看護学に基づいた基本的な考え方

C-2 生活者としての人間理解

C-3 生物学的に共通する身体的・精神的な側面の人間理解

C-4 疾病と回復過程の理解

C-5 健康障害や治療に伴う人間の身体的・精神的反応の理解

D 看護実践の基本となる専門基礎知識

D-1 看護過程展開の基本

D-1-1)看護の基礎となる対人関係の形成

D-1-2)多面的なアセスメントと対象者の経験や望み（意向）に沿ったニーズ把握

D-1-3)計画立案・実践

D-1-4)実施した看護の評価

D-2 基本的な看護技術

D-2-1)看護技術の本質

D-2-2)看護実践に共通する看護基本技術

D-2-3)日常生活の援助技術

D-2-4)診断・治療に伴う援助技術

D-3 発達段階に特徴づけられる看護実践

D-3-3)成人期にある人々に対する看護実践

D-3-4)老年期にある人々に対する看護実践

D-4 健康の段階に応じた看護実践

D-4-3)回復期にある人々に対する看護実践

D-4-4)慢性期にある人々に対する看護実践

D-5 心のケアが必要な人々への看護実践

D-6 組織における看護の役割

D-6-1)組織における看護活動とケアの質改善

D-6-2)リスクマネジメント

D-6-3)保健・医療・福祉チームにおける連携と協働

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	配信方法	テーマ	授業内容	担当者
1	4/15	8:30～ 10:10	N21	オンライン	ライブ (Webex)	主な精神疾患と看護(1)	統合失調症について	江副
2		10:25～ 12:05		オンライン	ライブ (Webex)	主な精神疾患と看護(2)	気分障害について	江副
3	4/22	10:25～ 12:05	〃	オンライン	ライブ (Webex)	主な精神疾患と看護(4)	パーソナリティ障害, 神経症について	江副
4	5/24 (月)	8:30～ 10:10	〃	オンライン	Webex (ライブ)	精神看護の特徴とその意義	精神看護のケアの原則, ケアの方法	山本
5		10:25～ 12:05				精神障害者の抱える症状の理解	精神障害者に特有な症状と 症状アセスメント	山本
6		13:00～ 14:40				主な精神疾患と看護(5)	統合失調症・気分障害の回復過程や 病相に応じた看護	山本
7		14:55～ 16:35				主な精神疾患と看護(3)	アディクション(依存症)の看護	山本
8	5/25 (火)	8:30～ 10:10	〃	オンライン	Webex (ライブ)	精神保健医療における 人権擁護, 倫理的課題(1)	精神医療における法制度の運用・ リスクマネジメント	山本
9		10:25～ 12:05				精神保健医療における 人権擁護, 倫理的課題(4)	権利擁護と行動制限, 治療的環境づくり	山本
10		13:00～ 14:40				精神科治療と看護(1)	心理社会的療法と看護	山本
11		14:55～ 16:35				治療的アプローチ(1)	認知行動療法, SSTの理論を学ぶ	山本
12	5/26 (水)	8:30～ 10:10	N11	オンライン	Webex (ライブ)	主な精神疾患と看護(6)	精神科における身体ケア	山本
13		10:25～ 12:05				臨床看護の実際と社会復帰(3)	社会復帰に向けた取り組みの実際	山本
14	6/3	8:30～ 10:10	〃	対面	Webex (ライブ)	地域精神保健	地域精神保健の実際, 精神科ソーシャルワーカーの役割	院内 児玉PSW

備考

島根大学行動指針のフェーズが2以上となった場合, Webexによるライブ配信に変更
嘱託講師, 院内講師による講義は, 講義日程や時間の変更がある場合があります。

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	配信方法	テーマ	授業内容	担当者
15	6/3	10:25～ 12:05	N11	対面	ライブ (Webex)	臨床看護の実際と社会復帰(1)	依存症体験者の話	断酒会の方々
16	6/10	8:30～ 10:10	〃	対面	ライブ (Webex)	精神科治療と看護(3)	薬物療法と看護, 電気けいれん療法と看護	A8 江藤
17		10:25～ 12:05		対面	ライブ (Webex)	臨床看護の実際と社会復帰(2)	精神科病院, 精神科病棟における看護実践	大國
18	6/17	8:30～ 10:10	〃	対面	ライブ (Webex)	治療的アプローチ(2)	WRAPを学ぶ, リラクセーション	瀧尻
19		10:25～ 12:05		対面	ライブ (Webex)	精神科治療と看護(2)	レクリエーション療法の実際	瀧尻
20	6/24	8:30～ 10:10	〃	対面	ライブ (Webex)	精神科リハビリテーション	病院から地域へつなぐ社会資源の活用	瀧尻
21		10:25～ 12:05		対面	ライブ (Webex)	セルフケアレベルの査定と分析	オレム・アンダーウッドのセルフケアモデルの活用	瀧尻
22	7/1	8:30～ 10:10	〃	対面	ライブ (Webex)	精神保健医療における 人権擁護, 倫理的課題(2)	倫理的事例の検討 (個人ワーク, グループワーク)	大國
23		10:25～ 12:05		対面	ライブ (Webex)	精神保健医療における 人権擁護, 倫理的課題(3)	倫理的事例の検討(発表)	大國
24		13:00～ 14:40		対面	ライブ (Webex)	対象の理解と看護の展開(1)	事例を通して生育歴, 発達課題をアセスメントしてみる	大國
25	7/8	8:30～ 10:10	〃	対面	ライブ (Webex)	対象の理解と看護の展開(2)	事例を通してセルフケアをアセスメントしてみる (個人ワーク+グループワーク)	大國
26		10:25～ 12:05		対面	ライブ (Webex)	対象の理解と看護の展開(3)	事例を通してケアの方向性や具体的なケアを考える (個人ワーク+グループワーク)	大國
27	7/15	8:30～ 10:10	〃	対面	ライブ (Webex)	対象の理解と看護の展開(4)	アセスメント, ケアの方向性について グループごとに発表	大國
28		10:25～ 12:05		対面	ライブ (Webex)	対象の理解と看護の展開(5)	ケアの実際と評価, まとめ	大國

備考
島根大学行動指針のフェーズが2以上となった場合, Webexによるライブ配信に変更
嘱託講師, 院内講師による講義は, 講義日程や時間の変更がある場合があります。